



新型コロナウイルス感染拡大防止の為、様々な活動に制限が出ています。これにより、現場は不安や悩みを抱えますが、同時に新たな創意工夫が生まれています。「つながる通信」では、そうしたコロナに負けない地域の繋がりやパワーを発信し、各地でお役立ていただく一助となれればと願っております。

取材先

九合地区 「あさひ小支援隊 あさひ農園」



平成14年1月に「あさひ小学校支援隊」を発足。同年6月より「あさひ農園」の活動が開始されました。「**地域の子供たちは地域の手で**」「**地域安心安全づくり**」の活動方針のもと、現在5部門に分かれ、約70名の方々が支援隊として活躍されています。

その中の「あさひ農園」は野菜作りや収穫、畑仕事を通して自然に触れながら子供たちと世代間交流を長年楽しんでいます。70代、80代の支援隊のみなさんはご自身の家庭菜園の手入れをしつつ、あさひ農園も管理しています。「**子供たちに良いもの(野菜)を見せたいからやり甲斐があるよ。**」と子供たちのがっかりした顔をさせないように、一生懸命に畑を耕し、種苗を植え、丹精込めて野菜を作る姿がとても印象的でした。

また、卒業した子供が高校生になり、農園に顔を出したり、じゃがいも植えなどの手伝いに来てくれることもあるそうで、みなさんはとても喜んでいました。卒業してからも「**つながり**」が途切れることなく今も続いています。

自分の父親世代の方々と一緒に畑を行うことでたくさんの「**学び**」があります。畑の事だけではなく、いろいろな知識を教えてもらいながら皆さんと楽しく作業をしています。

農園では子供たちからパワーをもらっています！体力勝負ですが、子供たちと接することで若返える気もします！と笑顔で話してくれました。



箱田会長

裏面へ続きます

地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～

令和4年度

あさひ農園開園式（R4.5.14）

旭小学校の校長先生をはじめとして、たくさんの先生方が参加していました。今年は天候により、子供たちは不参加でしたが、支援隊と先生たちは草むしりしたり、畑を耕すなど汗を流していました。支援隊のみなさんは子供たちと活動できることを楽しみにしていたので「子供たちと一緒に出来たら良かったのに…」ととても残念そうでした。



「食べる」ことにつながる農地体験は、地域の方と一緒に作業することで机の上では学べない経験ができます。これから芋ほりなど野菜の収穫は大きな喜びになると思います。地域の方にはとても感謝をしています。



旭小校長先生



手作りボードで説明



旭小2年生、芋苗植えを行いました。（R4.5.18）
みんな真剣にお話しを聞いていました。
「お芋大好き！」と答えてくれました。



死ぬまで元気！
雨も良く降り、野菜も順調、
作物も喜ばしい！
いろいろな夏野菜の育ち具合
を子供たちに早く見せたい！
「**美味しくな～れ、大きく
育て～**」と常に畑に目を配り、
心を込めて野菜を育てていま
した。



たわらやま ひでとし
俵山 秀俊さん
(83歳)



チェックポイント



高齢者、親世代、子供と3世代が共に活動するあさひ農園は子供から**元気**をもらい、高齢者からは沢山の**学び**があるそれぞれの**居場所**になっていました。

畑仕事で、**体力増進**。様々な会話でおしゃべりを楽しみ、美味しい野菜で**健康維持**。**フレイル予防**には最適なあさひ農園！

お宝情報を募集中！「私の近所でこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方は右記お問い合わせまで！



詳しくはこちら

お問い合わせ
太田市社会福祉協議会 地域福祉係
〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549
TEL 0276-46-6208 FAX 0276-46-6229